

## 平成27年度 小学校教職員を対象とする環境教育研修会 実施報告

「やってみよう！環境学習プログラム」第3回「自然観察」（テーマ：自然）

□実施日時 平成27年7月31日（金） 9時30分～16時15分

□受講者数 27名

□実施場所 明治の森高尾定公園 高尾山、東京都高尾ビジターセンター

□実施内容

### 【午前】

#### 1 事務連絡・開講挨拶等

- ・事務局（研究所）から受講上の注意、全体スケジュール等の説明
- ・環境局環境政策課から開講挨拶等

#### 2 ゲストティーチャーからの講義及び実習

（ゲストティーチャー：環境省環境アドバイザー 山室京子、六車貴美子、佐々木清子）

長年、自然観察会や環境学習にたずさわり、日本初となるボランティアと共同で環境教育を始めた東京都高尾ビジターセンターのボランティアでもある高尾山を知り尽くした3人のゲストティーチャーから、自然観察会の基礎知識とその体験を聞きながら、自然観察会を体験。また、子供たちに特に人気のネイチャーゲームから、自然の中に人工物を隠すことによって、自然との関わりを考える「カモフラージュ」を、実際に生徒になったつもりで参加し、環境教育の手法を実体験した。

#### ・ゲストティーチャーと高尾山自然研究路1号路を上りながら自然観察

京王線高尾山駅前で受付後、各自ケーブルカーで高尾山駅へ、高尾山駅から班ごとに観察会を行いながら頂上を目指す。



薬王院山門付近で。ムササビの巣を見上げる



高尾山頂付近自然研究路5号路での観察の様子



ネイチャーゲーム「カモフラージュ」の様子

【午後】

3 環境学習プログラム「自然に親しむプログラム」の紹介及び実習

(講師：特定非営利活動法人 環境学習研究会理事長 谷村春樹)



## (1) 「自然に親しむプログラム」プログラム紹介

### ①「葉っぱ合わせ」概要

さまざまな視点からの観察をとおして子供の感性を養うと共に、自然への興味・関心を高め、身近な自然の多様性や季節の変化を知ることが狙いとしたプログラム。

- ・ 2枚ずつ用意しておいた5種類の木の葉っぱについて、どの葉とどの葉が同じ木の葉っぱか、色や形、手触り、厚さ、におい等をよく調べて同じ葉っぱを探す。なぜ同じ葉っぱだと判断したのか、気づいた点などを発表。葉っぱをよく観察し、スケッチや、フィールドで葉がそれぞれどの木の葉っぱか探し、木が分かったら、葉っぱだけでなく木全体についても観察をおこなう。
- ・ 木の名前の由来について調べたり考えたりすることも、関連学習として有意義である旨の話があった。

「葉っぱ合わせ」プログラム解説

### ②その他のプログラムの紹介

「自然発見ビンゴ」、「秋の宝物さがし」、「冬芽拡大図鑑」の紹介を行った。

## (2)「環境学習の意義」について（各回共通事項）

「子供は実際に物事を体験する中で理解し、気づき、学んで成長する。しかし、現代の子供たちは、遊びや地域との関わりが希薄であり、様々なことを体験的に学ぶ機会が少なくなっている。このため、学校教育の場で、体験に基づき子供の感性を伸ばすことが、昔と比べ非常に重要性となっている。環境学習もその一環であり、『自然は、人間やすべての生き物のいのちの源である』ということ、実際の体験と気づきを通じて、子供の心の中に落とし込むことが大切である」こと等の説明があった。



### (3) まとめ（質疑応答及び受講者同士の情報交換）

この日の研修を通じて、気づいたこと、感じたこと、授業での取り上げ方や各学校で実施した関連事例等について、受講者が一人ずつ発表し、講師がコメントをして、受講者で情報を共有した。

#### 主な発表

- ・ネイチャーゲームを実際に実地体験できたことは大変よかった。
- ・校庭ですぐ活用できそう。低学年のことやってみたい。
- ・感性を働かせることの重要性がわかった。
- ・子供たちともっと仲良くなれそう。



### 4. 事務連絡、アンケート記入等（事務局）

アンケート提出後解散